

イベント紹介

現在の兵庫県の一部である播磨は、古くは播磨国（はりまのくに）、播州（ばんしゅう）と呼ばれていました。古くからこの地域（現在の高砂市を含む）では秋祭りが盛んで、屋台が祭りの中心となっています。

屋台は地域によってさまざまな形や大きさと作られますが、重いものが多く、2000 キロを超えるものもあります。数百人が担いで各地を巡り、地元の神社など重要な場所に寄ります。

町民は自分たちの屋台に大きな誇りを持っており、お盆やお正月よりも秋祭りの方が長居する人も少なくありません。高砂の秋祭りは、地元の人々の熱意によって、観光客にも人気があります。